

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立瀬田北小学校

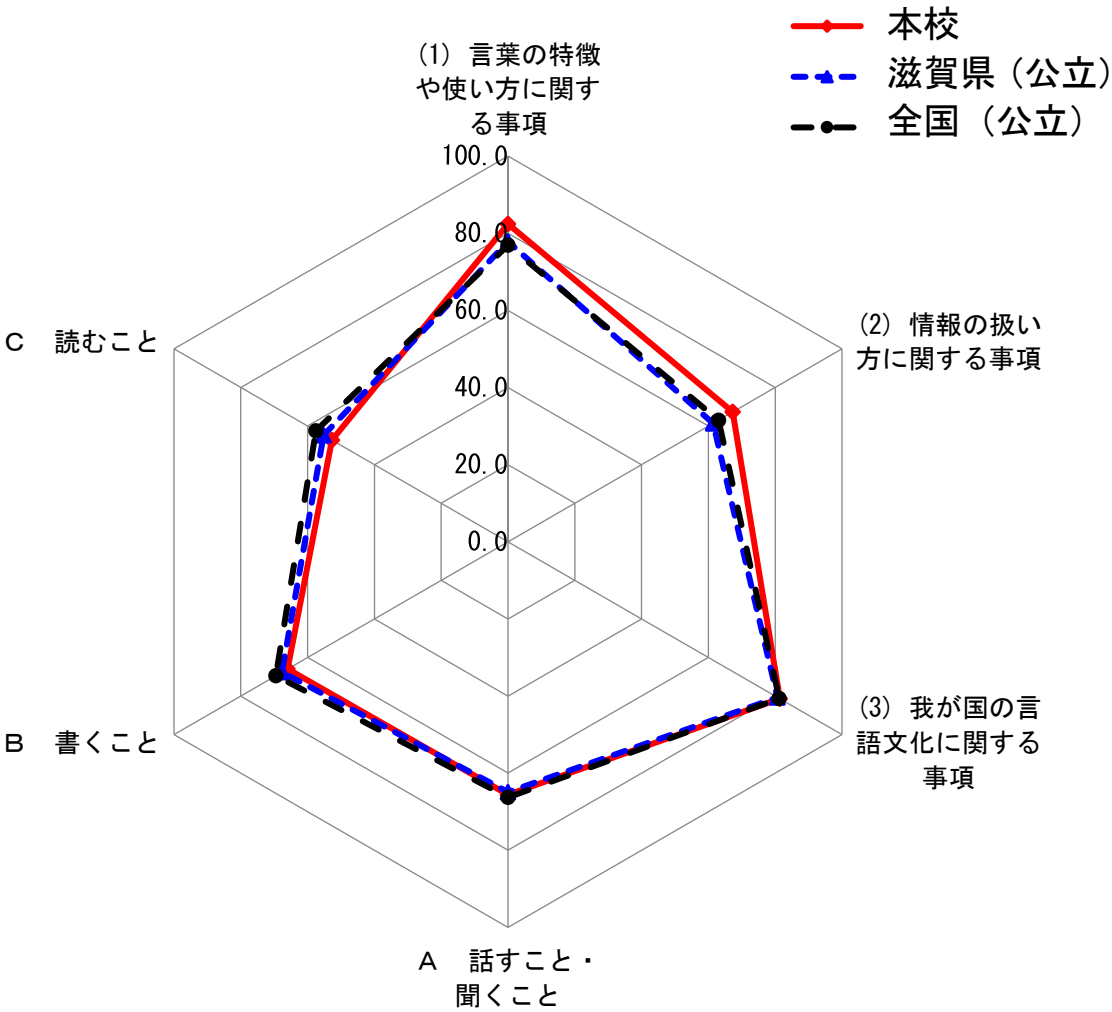
調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果について

本校では、国語科・算数科・理科ともに、おおむね全国平均と同じ、もしくは上回る項目が多い結果です。結果から見てきた「強み」を伸ばし、「弱み」を改善していきます。質問紙では、全国と比べて肯定的な回答が多かったものと、肯定的な回答が少ないものを分類し、一覧にしています。

国語科



【 強 み 】

【言葉の特徴や使い方に
関する事項】

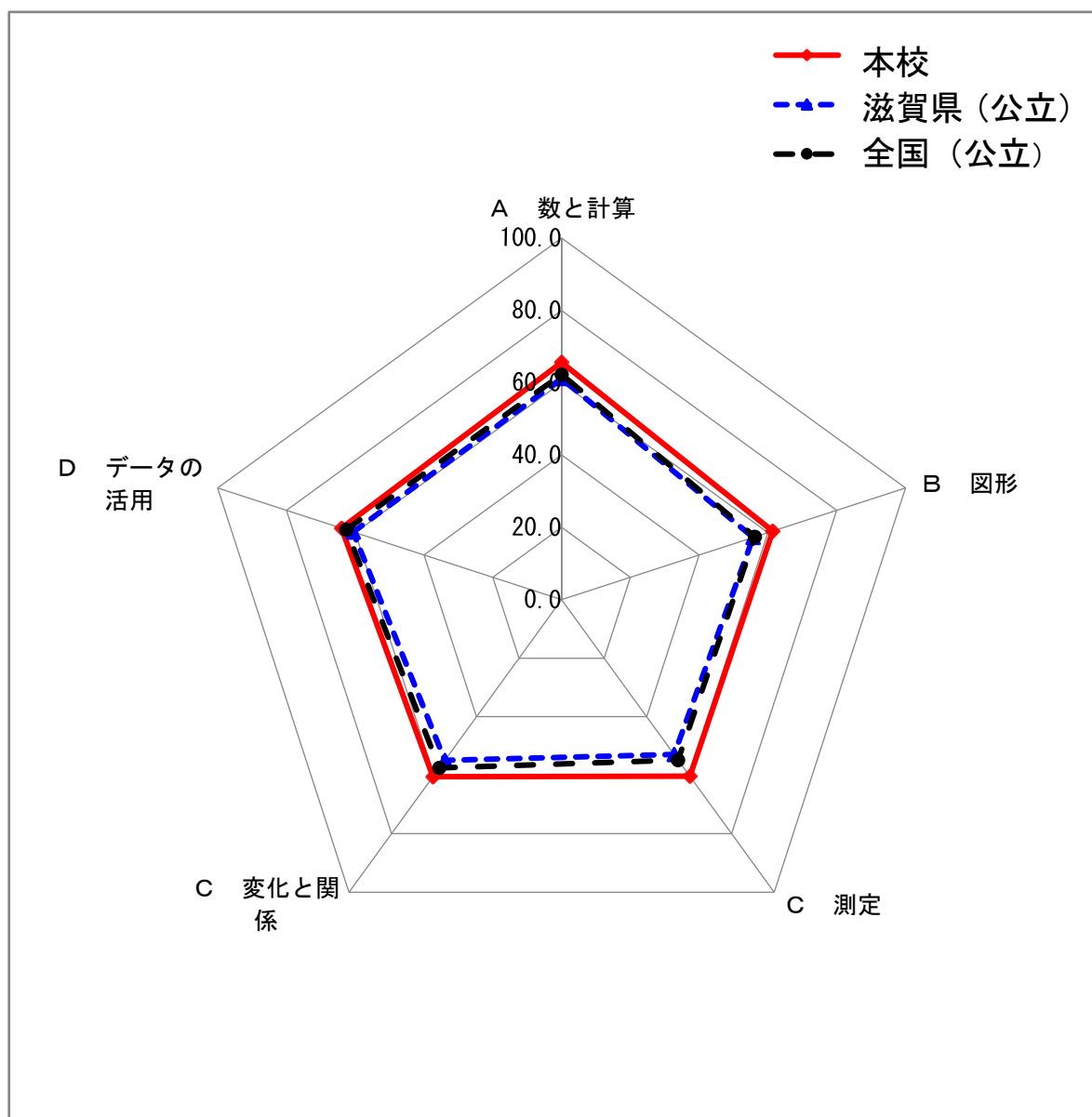
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができます。
- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、文章の内容の大体を捉えることができます。
- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができます。

【 弱 み 】

【書くこと】

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。また、それらに関係付けて伝え合う内容を検討することに弱さがみられます。
- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることに弱さがみられます。

算 数 科



【 強 み 】

【データの活用】

・簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができます。

【数と計算】

・示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができます。

・異分母の分数の加法の計算をすることや、小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができます。

【図形】

・角の大きさについて正しく理解しています。

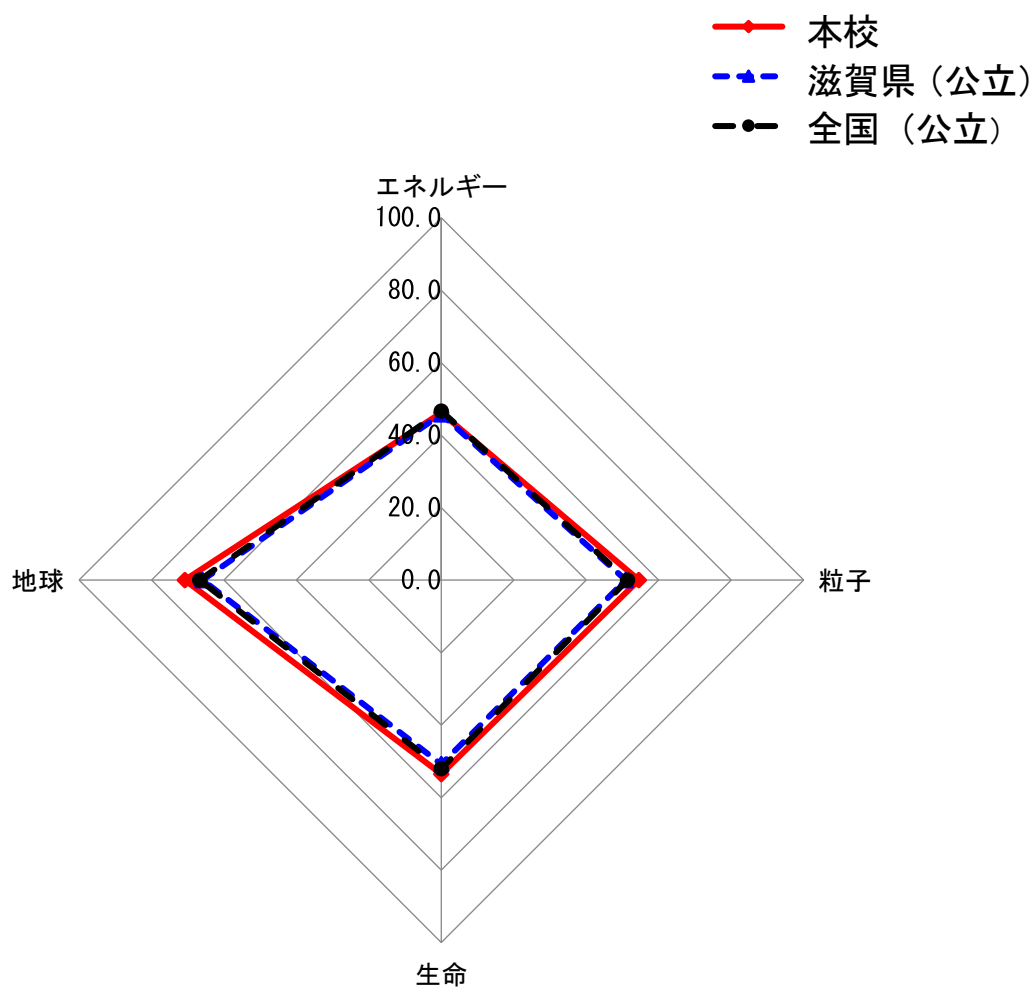
【 弱 み 】

【データの活用】

・グラフから見いだしたことを表現する際、目的に応じて適切なグラフを選択して判断すること。また、その理由をどの部分に着目したか分かるよう、言葉や数を用いて記述することに弱さがあります。

【数と計算】

・分数について、数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数(〇分の1)の幾つ分として捉えて計算したり、数や言葉を用いて記述したりする力に弱さがあります。



【 強 み 】

【地球】

・全国平均を上回っている項目が多いです。特に赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想して表現するとともに、結果を予想して表現することができています。

【生命】

・ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いています。

【エネルギー】

・電流がつくる磁力について、電磁石の強さはコイルの巻数によって変わることの知識が身に付いています。

【 弱 み 】

【エネルギー】

・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物を区別する知識に弱さがみられます。

【生命】

・レタスの種子の発芽の条件について、異なる点や共通点を基に新たな問題を見だし、表現することに弱さがみられます。

児童質問より

【肯定的な回答が多い項目】	【肯定的な回答が少ない項目】
・朝食を毎日食べている。 ・学校に行くのは楽しい。 ・友達関係に満足している。 ・人が困っているときは進んで助けている。 ・普段の生活の中で幸せな気持ちになることが多い。 ・先生は理解していない所をわかるまで教えてくれる。 ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 ・人の役に立つ人間になりたいと思う。 ・国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。 ・インターネットを使って情報を収集することができる。 ・ICT 機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	・国語の勉強は好きだ。 ・理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい。 ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある(習い事は除く) ・新聞を読んでいる。

今後の指導の充実に向けて

＜あらゆる教育活動において＞

- ペアやグループでの話し合い活動を通して、よき聴き手・よき話し手を育てます。
- 発問や課題を工夫し、児童が夢中になって学ぶことができる授業づくりを目指します。
- 挑戦意欲・協同性を高め、達成感を味わえるような学習を仕組みます。
- 意欲を高め、見通しをもって学習に臨めるような「めあて」を提示し、わかったことや考えの変化、めあての達成度などを「振り返り」活動を充実させます。
- 一人ひとりに寄り添い、繰り返し丁寧に積み上げる指導で、基礎基本の定着を図ります。
- 4年生以上の学年において教科担任制を充実させ、より質の高い授業を目指します。
- 今以上に互いに認め合い、高め合い、安心して学べる教室となるよう、学習ルールや規律を整え、支持的風土にあふれた学級づくりに努めます。
- 文章や図、グラフから必要な情報を取り出す活動を積極的に取り入れます。
- 友達とのやり取りから、相手の意図や思いを感じ取る活動を積極的に取り入れます。

＜教科学習において＞

- 国語科・・・「書く」活動へ慣れ親しむために、学習の振り返りや作文など、書く活動を授業に組み込む工夫をします。
目的に応じて必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりする学習活動を取り入れます。
条件に合う文章を書けるようにし、自分が書いた文章が条件を満たしているかを確認して推敲できる力を育てていきます。
- 算数科・・・複数の資料から、目的に応じて必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構築したりする学習活動を取り入れていきます。
式だけでなく図や言葉を用いて考えを記述する活動や、自分の考えを説明する活動の充実を図ります。
- 理科・・・復習を充実させ、基礎基本の定着を図ります。
子どもたちが主体的に問題解決に取り組めるような学習活動を工夫します。